

なごやかに敬老会

長寿を祝い535人が参加

お年寄りを敬愛し、長寿をお祝いする敬老会が残暑厳しい9月15日、町体育館で行われ、535人が参加しました。

たご夫婦に記念品が贈られました。
 続いて、南条小3年齋藤理恵さんと東陽小3年戸村奈津美さんが敬老作文を読み上げると、参加者はわが孫を見るやさしい目で発表

を見守りました。また、式典最後に、伊藤實老人クラブ連合会会長から参加者を代表して謝辞が述べられました。
 式典終了後は、皆さんが楽しみにしていた漫才や歌謡ショー等の演芸で、会場内は大いに盛り上がりしました。

實川さん、椎名さん 元気に満100歳

今年、満100歳を迎える實川サタさん（長塚）と椎名たけさん（木戸）に9月14日、内閣総理大臣からの祝状と記念品が金田海匠支庁長から贈られました。

また町からは記念品を贈りました。

お二人の生活ぶりを伺うと實川さんはテレビや、東京にいる曾孫からくる手紙に返事を書くのを楽しみにしています。

椎名さんは、今年のお正月に、書き初め用紙に自分の名前を大きく書いたり、7月の選挙時は投票にも行かれ、二人ともとても元気な様子でした。

これからも家族の皆さんに見守られ、健康で長生きをしてください。



長寿をお祝いして向後町長から記念品が贈られました

結婚50周年

いつまでもお幸せに!



鈴木俊・智恵ご夫婦(五ノ神)
 式典で45組を代表して記念品が贈られました

喜びの声

この度の敬老会では、社会福祉協議会、町関係団体で大変お世話になりました。また、70歳、80歳の方々の始め、私ども45組の結婚50周年を祝っていただきありがとうございます。今振り返ってみると、

戦後の食糧難、物資のない時期の苦勞に耐えながら働いてきましたが、今は日本の経済力も充実しました。このような時代に二人が健康で過ごすことができて喜びに耐えられません。今後は孫の成長を期待して楽しい人生を送りたいと思っております。



「100歳おめでとうございます」の声に笑顔で応えられた椎名さん



實川さん(中央)とご家族を囲んで金田海匠支庁長(左)、向後町長(右)